

# 市議会だより

北九州市議会事務局



(事故防止対策が望まれる市内幹線道路)

「百万都市として発展が期待されているとき、治安当局をはじめ、関係団体の指導と協力にもかかわらず、つきつぎに起る暴力行為、とくに青少年の傷害行為など、まことに憂慮にたえません。暴力を防止し、追放しようとする声は、市内は勿論、全国的な世論としてたかまっています。議会は、百万市民の人権と、平

## 暴力追放都市

和な文化生活を守り、明るい都市づくりのため、関係機関はもとより、全市民とともに、あらゆる暴力を排除することを決意し、北九州市を暴力追放都市にする。」と宣言しました。

又市長に  
対して、

- 1 暴力追放のための全市民的な組織をそだてて行くこと
- 2 暴力追放推進を助成すること

の二つを要望しました。

## 2つの宣言

市議会では、六月定例会最終日の二十九日、議員から発議された暴力追放都市宣言と交通安全都市宣言を議決しました。

市内では、交通事故によって平均二〜三日に一名の割合で死亡し、毎日約十名の割合で負傷しています。そのうえ、北九州地区だけで毎年約一万五千台の車がふえて行くといわれています。

## 交通安全都市

交通安全都市宣言は、今後市内の交通量はますますはげしくなり事故防止対策を望む声は日を追って高まっています。

市議会では、六月定例会最終日の二十九日、議員から発議された交通安全都市宣言と暴力追放都市宣言を議決しました。

交通安全都市宣言は、今後市内の交通量はますますはげしくなり事故防止対策を望む声は日を追って高まっています。

- 1 交通安全のための全市民的な組織を育てて行くこと。
- 2 市の財政を勘案し、交通安全をおし進めて行くよう助成すること。
- 3 道路、道路標示、信号機などの施設の整備をすること。



常任委員会

審査のあらまし

六月定例会に提出された三十九年度の補正額は、約八千五百万円、一般会計予算の増額分がおもなものです。六つの常任委員会は、この補正予算のほか、各種条例の制定、改廃などについて審査し、付託された全議案について「原案のとおり可決（承認）すべきもの」ときめま

はやく独立した学校に

「養護学校条例の一部改正」の審査から、

身体の不自由な児童を入学させる学校として、五月一日から八幡養護学校小倉分教場が開かれましたが、これを、さらに独立した小倉養護学校とするための条例改正です。

しかし、この小倉養護学校は、条例のうえだけの独立校で、実際は、小倉区天神島小学校の四つの教室を間借りしているものです。文教港湾委員会は、現地も見たうえで、身体の不自由な児童の教育を行なう特殊な学校であるから

六月定例会市議会は、六月二十二日にはじまって、二十九日におわりました。

この定例会では、消防団員等公務災害補償条例、市税条例の一部改正、林間学校条例を廃止する条例などの各種条例の制定、改廃や、昭和三十

五区のバランスをとるため

すこしづつ手直ししたい

「市税条例の一部改正」の審査から、国民健康保険税は、五区でそれぞれことなつた課税がおこなわれています。

市税条例百二十一条では、課税の最高額は「四万円」と定められていますが、付則によつて、若松区、八幡区、戸畑区では、当分の間、合併前の三万円のまゝにすえおかれていました。

そこで、この最高額をすこしづつ手なおして、四万円に近づけるために、この市税条例の付則を改正して、若松区、八幡区、戸畑区

の最高額を当分の間三万五千円に引上げるものです。

民生消防委員会では、三区の最高額を引上げねばならなかつた事由や六六市の事情なども説明して市民が十分納得のいくよう

にすべきだとの意見が出ました。東京都を除く五大市の最高額は、大阪五万円、京都七万円、横浜三万六千円、名古屋五万円、神戸三万六千円となつていま

す。

林間学校にかわる施設を

「林間学校条例を廃止する条例」の審査から、

皿倉山にある林間学校は、古くなつてこれ以上使用できないことと、ほかに青少年の野外活動施設ができたので、廃校にする条例です。

これを審査した文教港湾委員会は、これからはつぎのような意見や質問ができました。

「青少年の不良化防止がさげばれている今日、青少年の健全な育成、あるいは体育の向上のうえからこのような施設は整備して行

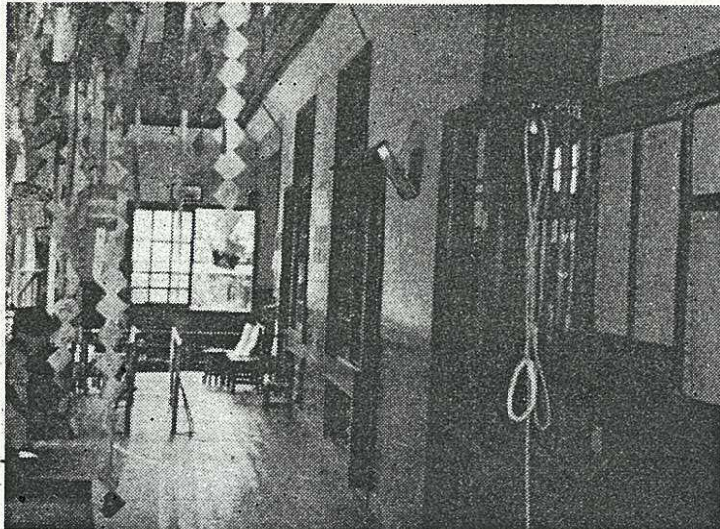
かねばならない。廃校するのはよくないのではないですか。」

「これにかわる青少年の野外施設にどんなものがありますか。」「改築してつづけて行くにはどれだけの費用がかかりますか。」

「この施設は、昭和十六年に古材木を利用して建てたもので、すでに二十数年も経過しているため現状のままでは使用できないうえ、場所も適地とはいえません。これを改築、整備すると六百万円かかるみこみです。

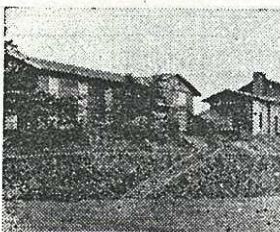
現在ある青少年野外活動の施設としては、近くに、宿泊施設を備えた県営の野外訓練所がありま

又六千坪もあるキャンプセンター（八幡区）も利用されているので、この林間学校を廃校にしてもさしつかえないと思ひます。なるべくはやく、近代的な設備を備えたものを建設するよう努力します。」



ぼくたちの学校はせまいので廊下までいろいろな道具がはみでています。

はやくぼくたちだけの学校がほしいなあー



皿倉山中腹にある福岡県青少年野外訓練所

6月定例会で可決された補正予算 (一般会計)

款	補正額	補正予算の説明
農林水産業費	7,844	・農業振興策の一つとして、農業経営を近代化するため、農業用機械を購入する費用6,270,000円(小倉、八幡区)の分 ・農業共済特別会計への繰入金1,574,000円
商工費	54,500	・中小企業に夏場資金を貸付けるための季節融資予託金50,000,000円 ・若松区高塔山レストハウス建設費4,500,000円
土木費	1,367	・小倉区の神嶽川、梨の木川、および宇佐町足立線の鉱害の復旧事業について国庫補助が決定したのでそれに要する必要会費
消防費	3,362	・消防団員の退職報償金制度が実施されたためこれに対する掛金
教育費	3,354	・中学校生徒にミルク給食が実施されたので、準要保護生徒に対する給食費補助金2,594,000円 ・市立小倉養護学校として開校に必要な経費760,000円
災害復旧費	14,817	(土木費と同じ)
計	85,244	註 これので39年度一般会計予算総額は23,482,815,000円になりました



議案と、議員発議による暴力追放都市宣言など四件、諮問三件、あわせて三十五件が審議されました。

このうち、発議四件と人事関係議案一件、諮問三件は即決、二十七議案は常任委員会での審査の後可決しました。

## 一般質問から

六月二十二日、市政一般について質問が行なわれました。以下はその要旨です。

### 国産生ワクチンの安全性は

A議員 ソ連、アメリカ、カナダなどの生ワクチンは、ほとんど事故例がないといわれています。国産生ワクチンは、現在まで、約百二、三十万人が投与を受けていますが、小児マヒ対策協議会の

五月臨時市議会、六月定例会市議会できまった役員はつぎのとおりです。

- 北九州港管理組合議会議員
- 野畑 彦蔵 議員(門司区)
- 鍋山 勝 議員(小倉区)
- 三好 博 議員(若松区)
- 安部 森行 議員(八幡区)
- 五郎丸 勝 議員(戸畑区)
- 河内 定一 議員(議長)
- 内原 西雄 議員
- (文教港湾委員長)

調査では、うち二十名が死亡し、十数名がマヒ症状を起しているといわれています。

「衛生局長が厚生省に行つて、安全であることを確かめて投与しているのだから間違いない。」と

「衛生局長が厚生省に行つて、安全であることを確かめて投与しているのだから間違いない。」と

「衛生局長が厚生省に行つて、安全であることを確かめて投与しているのだから間違いない。」と

市長 国産生ワクチンの投与に際しては、三月の議会でも討議していただき、また衛生局長を通じて厚生省の説明も求めました。い

つ方地元選出の国会議員を通じて国会でも論議をお願いしました。わたしとしては、六月の流行期を控えて、何とか流行を防止するよう努力しました。

衛生局長 三十七年、三十八年に投与したのがソ連、カナダ製の生ワクチンで、三十九年が国産生ワクチンを使用しています。

三十七年には、一千七百万人に投与されたときで、当時はかなり流行しているときで、二百八十九人のマヒ届出があり、このうち、六人が生ワクチン投与と関係がある

とを否定できない例が残っています。

また三十八年は、八百五十万人に投与され、百三十一人のマヒ届出があり、そのうち、九人について生ワクチン投与との関係を否定できない例が残っています。

三十九年度の国産生ワクチンは、三月に約二百万人が服用、マヒを伴わない症状があらわれた者が十五名でうち十名が死亡しています。これは生ワクチンとは全然関係がないと学問的に結論づけられています。

それから、国産生ワクチンを服用してマヒを生じた者が十四名あり、その中に北九州市の五所功治右がはいっています。

現在、相当よくなつていますがワクチン服用と関係があるか、ないかということについては、現在久留米大学の船津教授に検査を依頼しています。

### 道路網の整備を早急に

B議員 ①市内の道路交通網は年ごとに増加する車で、動脈硬化の症状をおこしています。

○北九州市監査委員

三原 貞一 議員

(小田郡三議員監査委員辞任のため)

- 北九州市教育委員会委員
- 村上 勝一 (門司区)
- 北九州市固定資産評価審査委員会委員
- 綾 家晋作 (門司区)
- 吉竹 宗利 (小倉区)
- 光 安富男 (若松区)
- 大寺 富広 (八幡区)
- 大隈 清吾 (戸畑区)

とくに、一九九号線から三号線への人口付近では二十分も待たなければ三号線にはいれない小倉駅から城野方面に行く路面電車通りでは、ラッシュ時の運行に一時間近くもかかるといわれています。

一例を申しますと、首根の工場団地から製品を積んだトラックが八幡製鉄所まで復返するのに四、五時間もかかるといつて業者をなげかれています。

北九州地区では、約一万五千台の車が増加して行くといわれており、このままでは、四十二、三年頃には、市内の産業道路は完全にマヒするでしょう。

市の発展のためにも、四十米ぐらゐの幹線道路計画をたてるべきではないですか。

市長 マスタープランとも関連しますが、三号線をおぎなう道路は新三号線だけで足るか、縦貫の道路は現在の三本のほかに、九州縦貫高速道路が考えられますが、そのほかに環状道路、地下鉄、モノレールなどについても考えて行かねばならないと思いますし、マスタープラン調査会でも検討してもらっています。

このような問題については、はやく基本的な方向づけをしてゆきたいと思ひます。

建設局長 道路の建設は、財政的な問題もありますので、できるだけ国から援助をうけて建設して行きたいと思ひます。

現在、五年間に約二百億円の工事を計画しており、交通マヒを緩

## 1日も早く日本に



### 沖繩の復帰を要請

沖繩が日本に復帰されることは、沖繩の住民はむろん、日本国民すべての願いです。

終戦以来、十九年の長い間、日本から分離されて、本土との往来さえ自由にできない現状は、同胞としてしるべきで、まことに残念です。

このような統治のありかたはその地域住民の利益は至上のものであるという原則と、人権を和するための道路改良は少くとも八割までは達成しようと考えています。

区画整理の問題とも関連しますが、四十米道路、三号線の取付に戸畑バイパスの立体交差の問題など、できるだけ市費をつぎこまずに、国の公共事業をまっぴら実施して行きたいと考えています。

市長 昭和四十二年頃までに、今の二つのトンネルが飽和状態になるといわれているので、これを緩和する案として、建設省では関門架橋案、国鉄はトンネル案、運輸省は防潮堤案をそれぞれもっています。

政府に対しては、「北九州港という日本一の港が、関門の急流のため、港としての使命を十分に果たし得ないでいる。防潮堤の問題は北九州港の将来のためにも大きな影響をもつので、三つの案をすみやかに統一して実現を願いたい。」と要望しています。

私としては、やはりこの三つの案が総合的に一本になつて推進されるべきであり、そのことが防潮堤をも実現すると思ひつています。

よつて、北九州市議会は、沖繩が一日も早く日本に完全復帰するための措置が講ぜられるよう要請します。(要旨)

六月二十九日の定例会で以上のような決議文を議決しました。

積極的に推進しようとはしていません。

市長も市議会もいっしょになつて、市の重点施策として推し進めて行くべきだと思ひますが、市長の抱負はどうですか。

市長 昭和四十二年頃までに、今の二つのトンネルが飽和状態になるといわれているので、これを緩和する案として、建設省では関門架橋案、国鉄はトンネル案、運輸省は防潮堤案をそれぞれもっています。

政府に対しては、「北九州港という日本一の港が、関門の急流のため、港としての使命を十分に果たし得ないでいる。防潮堤の問題は北九州港の将来のためにも大きな影響をもつので、三つの案をすみやかに統一して実現を願いたい。」と要望しています。

私としては、やはりこの三つの案が総合的に一本になつて推進されるべきであり、そのことが防潮堤をも実現すると思ひつています。



# 請願陳情のおしらせ

現地をみたうえで審査しています。  
ここに掲載したものは、昭和三十九年一月一日以降に市議会で受付けたものです。

## 請願

採択されたもの

- 割子川地区区画整理実施について(八幡区上津役)
- 木屋ヶ谷(小峰)間道路拡張並びに舗装について(八幡区上津役)
- 足原一号線と富野、湯川線の道路舗装並びに道路拡張について(小倉区寿山校区)
- 地区公民館建設について(八幡区幸神町)
- 下水溝整備について(小倉区下津)
- 下水終末処理排水路構築方について(小倉区高坊)
- 防火水槽の設置について(小倉区中曾根)
- 国道一九九号線立退者に対する市営住宅優先入居について(若松区藤本町)
- 国道一九九号線立退者に対する代替地の確保について(若松区藤本町)
- 国道一九九号線立退者に対する資金の斡旋について(若松区藤本町)

## 5月臨時市議会から

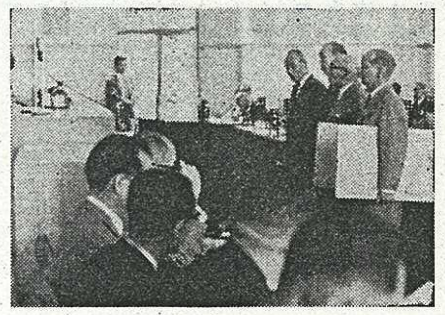
五月臨時市議会は、五月二十五日から二十六日の二日間開かれました。  
この臨時市議会では、交通局企業職員の給与の種類および基準を定める条例について、議会の承認を求める議案をはじめ、教育委員会委員の任命固定資産評価審査委員会委員の選任について承認を求める議案など、十二件が審議され、全議案が可決されました。  
また、議員の発議により、**鉱業法改正問題特別委員会**が設置されました。

この特別委員会は、十八名の委員からなり、議会の閉会中、鉱業法の改正問題を調査研究し、その適正な改正をはかることを目的としています。  
〔解説〕鉱業法の改正問題というのは、鉱業法の一部を改正する法律案について、鉱業と他産業、そのほか一般地上権益との調整についての問題です。  
この改正案では、鉱業権者が鉱石を掘る場合、一般地上権益をおかしても、地上権者を保護し、救うための規定がありません。それだけでなく、改正案の第八八条の二と、同条六の規定は、鉱業権者は地上権者に対して損害賠償の請求権を有するものとされています。  
や、地上の工事差止め請求権が認められていないなど、鉱業権者の保護だけにかたよりにすぎています。  
したがって、この改正案が成立すると、市が長期間にわたって計画している建設事業や、産業基盤を整備して行くうえで大きな障害になるわけです。

### 特別委を設け

**委員長** 大庭 勇  
**副委員長** 古賀千城  
**委員** 山本信輔

- 北九州市白銀中学校校舎早期着工について(小倉区白銀町)
- 道路の改良並びに側溝整備方について(八幡区日出町)
- 被爆者援護法制定並びに医療法改正について(北九州被爆者団体協議会)
- 弾薬倉庫移転について(八幡区規田)
- 乳児保育所について(若松区赤島町)
- 大谷地域道路の完全舗装について(戸畑区大谷)
- 道路の新設について(八幡区大字橋)
- 養鶏事業の育成方について(八幡区農業協同組合)
- 低家賃住宅の大量建設について(北九州地区労働組合評議会)
- 中小労働者厚生福祉施設の建設について(〃)
- 道路の舗装方について(門司区伊川)
- 西小倉小学校講堂の早期建設について(西小倉小学校)
- 大里出張所の業務拡大について(門司区大里東校区)
- 曽根工場団地内の電話架設並びにバス路線延長について(〃)
- 校舎増築工期促進並びに校舎増築について(北九州市立引野小学校)
- 消火栓の設置について(八幡区香月町)
- 水道管の布設変更について(八幡区香月町)



## 永年勤続議員など表彰されました

五月二十日、全国市議会議長会と、四月十六日、福岡市議会議長会から、永年勤続議員など、市政に功勞のあつた方が、表彰されました。  
市議会では、五月二十五日の臨時市議会に先立ち、表彰状の伝達式を行いました。

○全国市議会議長会表彰者  
本谷 源治議員 特別表彰 議員在職三十年以上  
竹内吉十郎議員 議員在職二十五年以上  
河内 定一議員 感謝状 相談役

○福岡市議会議長会表彰者  
石飛 為吉議員 表彰 昭和38年10月31日 藍綬褒章を受章  
古賀 千城議員 表彰  
河内 定一議員 感謝状 福岡県市議会議長会会長

## 陳情

採択されたもの

- 工業団地の助成措置について(戸畑沖台通り)
- 道路の改修並びに側溝新設について(小倉区熊本町)
- 道路の築造方について(八幡区三ヶ森)
- 消火栓設置について(八幡区三ヶ森)
- 道路の中員拡張方について(八幡区荒手町)
- 清水小学校校舎改築促進について(小倉区清水河内)
- 河内貯水池周辺の防護柵復旧方について(八幡区河内)
- 児童小公園の設置について(戸畑区一枝)
- 不採択になったもの
- 失業対策事業賃金の大中引上げ協力方について(全日自労八幡分会)
- 失対そのものを定職としている現状では、請願の趣旨にそいがたい。
- 市道認定並びに道路改修について(八幡区大谷町)
- (理由) 同じような道路は区内にも多いので、総合して検討しなければならぬ。
- 小公園の拡張について(八幡区神田町)
- (理由) いまの小公園の場所ではひろげる余地がない。
- 国産小児マヒワクチンについて(北九州地区小児マヒ対策協議会)
- (理由) 国産生ワクチン投与は小児マヒ対策として必要であり、安全性は国家検定によって認められているので、願意にそいがたい。
- 平尾開拓畑地灌漑末端工事について(平尾開拓農業協同組合)
- 工業青年学級に対する協力方について(若松区浜八幡町)
- 洞海港衛生管理について(洞海地区船員労働安全衛生協議会)
- 母原線側溝改修工事について(小倉区大字母原)
- 非行少年収容施設設置について(北九州市中学校PTA連合会)
- 夜警員の常置について(〃)
- 新道寺曾根線の開通について(小倉区大字母原)
- 速達区域編入について(小倉区上城野)
- 治水工事について(若松区第二十二区自治会)
- 小倉食肉センター敷地内の空地貸与について(〃)
- 精薄児収容施設の設置について(北九州市立ひまわり学園)
- 道路補修ならびに拡中工事について(八幡区大字木屋瀬)
- 中国経済貿易展覧会の北九州市開催促進について(北九州市中小企業団体連合会)
- 消火栓の新設について(小倉区篠崎水道町)
- 黒川し尿貯留槽撤去について(門司区黒川字外畑)